

山形大学附属学校園だより

六 稜

2022.3.10

【発行】
山形大学附属学校園

【印刷】
坂部印刷株式会社



【第81回全国教育美術展 特選】 白戸絵音(2年生)『夕暮れの田んぼ』

(※附属中は今年度、「第81回全国教育美術展 学校賞 内閣総理大臣賞」を受賞しています。)

附属学校型コミュニティ・スクールへの展望



附属学校運営部長
中井 義 時

令和三年度時点で全国の三分の一の学校がコミュニティ・スクールを導入しており、山形県小中学校においても、令和四年度までに六十%を超える導入が予定されています。コミュニティ・スクールとは「学校運営協議会」を設置している学校のことですが、山形大学附属学校園の場合は、「域内教育行政機関・PTA・同窓会・翠稜会(教員OB)・大学関係者・地域の有識者・運営部長・運営副部長・校園長」等を学校運営協議会の委員として委嘱し、附属学校園の運営方針の承認、附属学校園に関わる諸課題の熟議、附属学校園運営の評価を実施していくことになります。

令和六年度の導入を目指し、特定の地域を持たない学校として「附属学校型コミュニティ・スクール」として、次のような特色を出していきたいと考えています。

○学校園ごとの導入ではなく、幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校を一体とした「山形大学附属学校園コミュニティ・スクール」とすること
○特定の地域を持たない学校として、「人的ネットワーク」を構築すること
○山形大学の地域との関わり方の基本方針を踏まえた地域に貢献できる活動すること

○各学校園を応援する「学校支援組織(本部)」を設置すること

このような中で、現行の学習指導要領の要である「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、地域の方や保護者、附属学校園と関係の深い大学・同窓会・翠稜会・教育行政機関との連携・協働を強化し、次代を担う子どもたちの育成と地域に貢献できる学校を創っていきます。

令和六年度までの導入に向け課題となることは、各学校園を応援する「学校支援組織(本部)」の設置と、その組織を基本とした「人的ネットワーク」の構築です。数は少ないのですが先行して実践している国立大学附属学校園の事例を参考にしながら進めていきます。附属学校園を取り巻く人的環境は最強の教育資源であり、宝であると考えています。特に、質的にも量的にも豊富な同窓会への期待は大きく、このことについては、令和三年度より同窓会と協議しながら進めているところです。「人的ネットワーク」が効果的に活用されるためにも新たなホームページの作成にも着手していきます。

PTA及び同窓会、翠稜会等の皆様には、これまでも多大なご理解とご支援・ご協力をいただいていることに感謝しつつ、「附属学校型コミュニティ・スクール」の導入に向け、これまで以上のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



PTA作業(中PTA)



親子行事(幼PTA)

今年度も新型コロナウイルス感染症への感染対策等のため、PTA役員の招集も最小限に抑えた中での実施となりました。新生活様式を踏まえながら、学校と各家庭とが連携しながら積極的かつ建設的な取組を実践してまいりました。

企画部は様々な制約がある中、東南村山地区内にある就労継続支援A型事業所、B型事業所、生活介護事業所の中から一事業所ずつ選び、作業内容、一日のスケジュール、就労まで身に付けてほしいこと等、事業内容に関する資料の提出をいただきました。その資料を基に、書面開催での研修会を実施いたしました。学校で実施している現場実習も含めて、働くことの大切さのほか、「出来ないだろう」と諦めずに保護者として経験させることの大切さを学びました。

学部委員の方々は、感染防止対策を考慮するなど、例年とは違った形でおさがりの会を計画し、実施していただきました。

PTA活動をバックアップしてくださった先生方、保護者の皆様、今年度も児童生徒が毎日笑顔で登校できたことに心から感謝申し上げます。

今年度のPTA活動によせて

附属特別支援学校PTA会長 柏倉 隆文

日頃よりPTA活動へのご理解とご協力をいただきまして、心から感謝申し上げます。WITHコロナの学校生活も二年目となり、今年度も学校行事の中止、縮小、変更などに伴いPTA活動も従来のような活動は残念ながらできませんでした。

こうした中でも、感染症対策を徹底しながら総務部による合唱コンクール協力、広報部による「附中だより」の発行、施設厚生部、保健部合同のPTA環境整備(ワックスかけ)、母親委員会による「制服リユース会×障がい者×ぞうきん作り」の取組みなどは実践することができました。特に、制服リユースの取組みは、福祉施設の方にも歓迎され、母親委員会がめざす「三方よし」が実現しています。

思い通りにならないこともまだまだたくさんありますが、今後も、学校、家庭、地域のつながりを大切にして、子供たちが安心、安全に学校生活をおくれるよう保護者の皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

WITHコロナにおけるPTA活動

附属中学校PTA会長 佐藤 元



奉仕作業(小PTA)

PTA活動

日頃よりPTA活動への深いご理解と多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。今年度は、昨年から続く新型コロナウイルスの感染拡大により、多くの制限がある中でPTA活動を行った一年でございました。しかしながら、今年度はこういった環境下において感染リスクを抑えつつ、新たな形でPTA活動を検討してまいりました。

本園のPTA組織は、学級委員長会並びに行事部、広報部、図書部の三つの専門部で構成されております。学級委員長会では、夏の「ふようの集い」にて、消しゴムはんこ作り、秋の「親子行事」にて、ウォークラリーとエコバッグ作りを行いました。行事部では力を入れている「食育」の中での会食補佐、昨年の反省を活かしたZoom配信を行い、より密にならない運動会を開催いたしました。広報部では園の広報誌である「園じよい」を発行し、子供たちの園生活の情報発信を行っております。図書部では、園の本の管理、図書だよりも発行し、おすすめ本の紹介をしました。

今後も、幼稚園の長い伝統を受け継ぎながら、子供たちの健やかな成長と魅力ある幼稚園づくりに柔軟に取り組んでまいります。ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

今年度のPTA活動

附属小学校PTA会長 菅野 佑吉

日頃よりPTA活動において深いご理解とご協力を頂き、心より感謝申し上げます。今年度も新型コロナウイルス感染症防止の為に、制限されたPTA活動となりました。

四月のPTA総会では紙上での報告・提案となりました。評議委員と総務部は昨年に引き続き、安全部と共に子ども達の登校を指導する活動を行いました。広報部は「誌面学習参観」と題して、子ども達の学習の様子を広報誌「附小だより」にて写真で伝えてくれました。保健部は、みのりSF(スポーツフェスティバル)が無観客での動画配信となり、例年のような活動は出来ませんでした。研修部は、山形大学客員准教授伊藤洋子先生による「子どもの心の発達課題」の発達段階に応じた親の関わりについてというテーマで録画配信により講演をして頂きました。母親委員は、十一月の分散型学習参観時に制服リユース会を開催致しました。

新型コロナウイルスで困難な状況は二年目となり、今後も柔軟な対応が求められる日々が続きますが、これからも出会えた人との繋がりを大切にして、皆様と共に困難を乗り越えていけたらと思います。そして、子ども達の健やかな成長を見守り、希望の持てる未来が来ることを切に願っております。

交流学习の様子



附属幼稚園との交流及び共同学習(特・幼)



附属小学校との交流及び共同学習(特・小)



家庭科交流(幼・中)



れんぎょうフェスティバル(小・幼)

今年度も、昨年度に引き続き、コロナ禍の中で
の学校教育活動となりました。

入学式は、新入生のみ参加など規模を縮小し
ての実施となりました。市中総体等の各種大会は、
感染症対策を施しながら開催されました。そうした中
でも、市中新人決勝大会では剣道団体女子が優勝する
など輝かしい成績を収めることができました。

運動会と合唱コンクールは昨年度同様、感染症対策
を施しながら実施し、皆で協力しながら一つのものを
つくりあげる喜びを得ることができました。

研究では、5月に「学習指導研究協議会」を実施し、
授業動画を配信するなどして、県内外にICT等を生
かした授業を公開することができました。

今後も、ご家庭のご協力とご理解を得ながら、日々
の授業を大切に教育活動に取り組んでいきたいと思
います。

研究テーマ「探究的な学びを通じた資質・能力の育成」

主な行事と日程

- 4月8日 入学式
- 4月 PTA総会（紙面開催）
- 5月24・25日 学習指導研究協議会
- 7月9日 運動会
- 7月17日 PTA施設部環境整備
- 7月20日 授業参観・PTA研修会・学年学級保護者会
- 11月5日 合唱コンクール
- 12月11日 学校参観日・PTA研修会（1，2年）
- 2月 制服リユース会



今年度の附属中学校



今年度の附属幼稚園

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防
止を優先した教育活動となりました。6月の「遊
びと学びフォーラム」、10月の「研究協議会Ⅱ」
を参加人数限定で開催しました。コロナ禍により、
保育参観が可能な研修機会が失われている今、遊びこ
む子どもの姿をもとに外部の先生方と協議を重ねるこ
とができました。

大学との連携においては、年間を通じて学生を講師
役とした「英語遊び」を展開しました。英語を用いた
歌やダンス、遊びなどの体験を通して、楽しみながら
コミュニケーション能力の基礎を育んでいます。教員
を志望する学生にとっても貴重な経験となっています。

研究テーマ「遊びこむ子どもを育む」

主な行事と日程

- 6月10日 遊びと学びフォーラム
- 9月22日 運動会
- 10月5日 園外保育（年少：県庁公園、
年中：ひぐらし公園、年長：千歳山登山）
- 10月9日 全国公立幼稚園・子ども園長会特別事業
「ブロックキャンペーン研修会」
（兼PTA親子行事）
- 10月26日 研究協議会Ⅱ
- 12月1・8・15日 ステージフェスティバル
- 1月13日 雑煮会食
- 2月25日 年長さんありがとうの会

昨年度中止した入学式は入学生（体育館）と在
校生（各教室）をオンラインでつなぐ形で開催し
ました。また、いくつかの交流活動もオンライン
で実施するなど、コロナ禍の感染対策を講じなが
らGIGAスクール構想を加味した新たな教育活
動に挑戦してきた1年となりました。

修学旅行については、感染対策を講じながら、中学
部は山形を知る学習の一環として県内2日間の日帰り旅
行を、高等部は自分たちが行ってみたい場所などを県内
の観光地から選び、2泊3日の旅行を実施いたしました。
「ふれあいタイム」においては、オリンピックの池田
めぐみさん（フェンシング）、パラリンピアンの中村
大選手（水泳）との交流を行いました。トップアスリ
ートの大会にかけける思いや練習内容のほか、普段の様子
などを知ることができ、とても身近に感じたようです。

附属学校園として進めているGIGAスクール構想、
SDGsについても今後とも推し進めていきたいと思
います。更なるご支援、お願いいたします。

研究テーマ「一人一人が自己の学びを実感し、生活していく姿を求めて」

主な行事と日程

- 4～5月 PTA総会（紙面開催）
- 6月9日 授業づくり研修会Ⅰ
- 7月14日 授業づくり研修会Ⅱ
- 7月16日 ふれあいタイム①
- 7月20日 ふれあいタイム②
- 10月15日 授業づくり研修会Ⅲ
- 10月配付 PTA研修会（紙面開催）
- 12月17日 ふれあいタイム③
- 1月14日 ふれあいタイム④
- 2月11日 ふれあいオリパラ2020

※4年間実施したまとめの活動



今年度の附属特別支援学校



今年度の附属小学校

今年度は、コロナ禍において新しいことに挑戦
した一年でした。子どもたちが掲げた「自分から
行動し、心に虹をかけよう」の大テーマのもと、
目に見えない心のつながりを大切にしながら、本
校でとても大事にしているみのり班活動を可能な
範囲で実施してきました。

1年ぶりのみのり遠足では、青空の下、馬見ヶ崎川
原でたっぷり自然に浸りながら、異学年の仲間と笑
顔いっぱい活動することができました。みのりス
ポーツフェスティバルでは、異学年の交流ができずに
学年ごとの競技となりましたが、初のZoomによる動
画配信に挑戦し、子どもたちが元気に活躍する姿を保
護者の皆様にお伝えすることができました。みのり登
山では、なつめ学年の6年生を中心に、励まし合いな
がら頂上をめざし、色づく秋の千歳山を十分に味わう
ことができました。

みのり活動を通して、互いを思いやることの大切さや
心がつながることの喜びや楽しさを感じ取った子ども
たちは、それぞれの学年で大きく成長することができました。

研究テーマ「よりよい自分に向かって歩み続ける生き方が育つ学び」

主な行事と日程

- 4月24日 PTA総会（紙面開催）
- 5月20日 開校記念式
- 6月18日 学習指導研究協議会
- 6月25日 みのり遠足
- 10月2日 みのりスポーツフェスティバル
- 10月22日 みのり登山
- 11月5・12日 秋の研究協議会
- 2月25日 6年生を送る会

編集後記

今年度は、コロナ禍
にありながら児童生
徒の新しい学びのス
タイルや教職員の研
修の在り方、保護者
の方への発信など、試
行錯誤を重ねながら、
次の一歩を踏み出す
ことができた一年で
あると感じます。

四附のPTA活動の
様子を拝読しますと、
多くの制限がある中
でも密を回避ながら
保護者が集まる活動
を工夫したり、広報
部を中心に誌面や
お便りでも子ども
たちの姿を紹介し
たり、研修会を
催や動画配信で
行なったり、これ
までの経験を
生かしながらつ
ながりを大事に
取り組まれている
様子が見えま
す。はやく本来の
活動ができるこ
とを心から祈っ
ております。

編集委員

島津麻衣子、山本聡子（幼
相原里実、浅野成枝（小
菅光子、羽生あやこ（中
中川未来絵、叶内絢子
高橋美恵子（特）